

## 第2回 新潟島中心部交通政策検討協議会

開催日時：平成18年6月5日（月） 午後1時30分から  
場 所：新潟市役所 第2分館 2-601会議室

### 次 第

1. 挨拶
2. 新潟島中心部交通政策の今後のあり方について
  - ①主要路線の交通量と車線について
  - ②交通政策検討対象路線（案）
  - ③抜本的に見直す場合のメリットとデメリットの比較
  - ④交通政策見直しにかかる主な課題の抽出
3. その他
  - ・みなとまちにいがたわくわくプラン  
（古町周辺地区まちづくり基本計画＜概要版＞）
  - ・今後の予定

## 主要路線の交通量と車線について

### 1. 交通量と望ましい車線数（道路構造令より）

#### ◎市街地内の幹線道路

車線数	基準交通量	交差点補正後
6	72,000	( $\times 0.6$ ) 43,200
4	48,000	( $\times 0.6$ ) 28,800
3 (一方通行)	18,000	( $\times 0.6$ ) 14,400
2	12,000	( $\times 0.8$ ) 9,600

※「市街地内の幹線道路」は、第4種・第1級の区分とする。

### 2. 現状の交通量（県警データより）

- ・西堀通の日平均交通量 約9,000台/日 現状3車線（片方向）
- ・東堀通の日平均交通量 約7,000台/日 現状3車線（片方向）

☆西堀通、東堀通とも日平均交通量約10,000台以下であり2車線並み

#### ◎1車線分の活用（案）

**案1** 一方通行規制解除など抜本的な交通政策の見直し検討を進める

**案2** 歩道の拡幅、掘割再生 など（ただし、規制解除は困難となる）

